



# 常磐中学校だより

令和 7年12月 5日  
No. 15  
四日市市立常磐中学校

《学校教育目標》 生き生きと輝く

## 人権感覚あふれる学校を目指して 2

### 川口さん来る！ 人権講演会



11月27日（木）午後、本校体育館にて人権講演会を開催しました。この講演会は現在各学年で進めている部落問題学習の一環で、差別を受ける側の痛みや苦しみを生の声として直接聞くことで、差別を「しない」だけでなく「許さない」という姿勢の大切さを理解し、互いを尊重しあえる人間関係づくりの意識を高めるための取り組みになりました。講師は、山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司（かわぐち やすし）さんでした。ご自身の生い立ちやこれまでに経験された部落差別の実態についてお話しいただきました。「差別やいじめの加害者は、無知・無理解・無関心から無自覚にしている。」「『かわいそう』という言葉は、多数派がマイナスのレッテルを張っている上からの言葉ではないか。」「差別は見ようとしないと見えないものだから、みなさんには見えない差別を見抜く力を持つてほしい。」「安心して自分のしんどいことを語れる仲間（みんなが互いのキャラッチャー）になろう。」など、いくつかのポイントを教えていただきました。

生徒たちは、事前学習で見た動画に出ていた人が実際に目の前にいるということで、集中して川口さんの話に聞き入っていました。

生徒だけでなくその場にいた大人にとっても、人権について深く考える貴重な機会となりました。



### 三泗音楽会へ出場しました！

11月14日（金）川越町あいあいホールにて、第65回三泗中学校音楽会が開催されました。本校からは、先の文化祭で最優秀賞を獲得した3年2組が常磐中代表として出場しました。各校からコンクールを勝ち抜いてきたレベルの高い合唱が多いなか、午後の部のトップバッターという緊張するシチュエーションでの合唱でしたが、文化祭当日の合唱からさらに磨きをかけた完璧な合唱ができたと思います。音楽会の講師さんから、「常磐中の合唱で会場の雰囲気をピリッと引き締めてくれた。それくらいレベルの高い素晴らしい合唱だった。」と、お褒めの言葉をいただきました。今後もこのいい流れを引き継いでいきたいですね。



## 「職業ガイダンス」 ザ・プロフェッショナル

12月2日（火）、1年生の総合的な学習の時間の授業で、各業種でご活躍されている方から実際にそれぞれの職業についてお話を聞く機会を持ちました。この取組は、本校のキャリア教育の一環として、次年度の職場体験学習に向けた大切なステップとなるもので、本校PTAの研修指導部で開催していただきました。普段あまり考えられない自分の将来や仕事について意識する貴重な機会となりました。

<来ていただいた講師のみなさん>

(保育関係) どんぐり保育園 保育士	田尻 幹子 さん
(営業関係) ヴィアティン三重	市野 智康 さん
(介護関係) ゴールドエイジ 介護福祉士	土性 千春 さん
(スポーツ) Gladjoy football club コーチ	松山 竜二 さん
(医療分野) 鍼灸師	伊藤 幸洋 さん
(医療分野) 総合医療センター臨床心理士	大谷 里奈 さん
(消防分野) 四日市消防本部総務課	人見 幸希 さん
(美容分野) メイクアップアーティスト	古田 紗代 さん
(製造分野) 高純度シリコン株式会社	山口 真平 さん
(芸術分野) イラストレーター・作家	森本 敦子 さん



### 人権感覚あふれる学校を目指して 3 「ある日の出来事」

ある日、下校途中の常中男子生徒が横断歩道で転倒する老人を目撃しました。その生徒は老人に寄り添い、救急車が来るまで介抱したそうです。駆けつけた救急隊員に老人が転倒する様子などをしっかり説明している姿に感動した地域の方から、常磐中学校にお褒めの電話がありました。困っている人の立場に立って行動できるって、なんて心優しい素敵なことでしょう。

